

風

(現場)からの

宮田守男

昨日は、二十四節気では「春分」。日照時間が長くなり日暮れ時刻が遅くなる時期だ。一日の過ごし方を考えるのも楽しんだ。16日には北陸新幹線も19

73年の整備計画から半世紀超で福井県敦賀まで延伸開業。各地域で取り組みの話が伝わってくるが、6月30日に予定していた「黒部宇奈月キャニオンルート」の一般開放が、ルートの起点・樺平駅へと向かう黒部溪谷鉄道の鐘釣橋が能登半島地震の影響による損傷で、開放が秋以降にずれ込むとの残念な情報だ。災害に劣弱な観光ルートと認知されないように万全な安全対策と情報提供が求められるのだろう。

2月に白馬の国際化に尽力した長谷川メリーさんが天国へ旅立ったと連絡をいただいた。白馬村在住した当時のメリーさんの多岐にわたる活動の記憶が蘇る。1985年に白馬村名鉄別荘地に別荘を購入したが、95年に老後生活のためハワ

外国籍住民との協働が国際観光リゾート地として求められている

長野冬季オリンピック中は白馬乗鞍のアルプスホテルでVIPの村の国際プロジェクトに通訳としてボランティア活動に従事。メ

白馬村にはたった一人のアメリカ人で、来訪中の外国人のトラブルでの通訳として病院や警察署に駆けつけていた。

生に行き詰まり、生命を絶つまで疲れ果てた若者を救うために、幾度となく自宅に招き生きた希望を与え励まし続けた姿は心に残る。

私に何をしてくれるのか？ではなく、私はこの村のために何ができるのか？」のメッセージは多くの皆さんの記憶に残っているはずだ。

ますます国際化する



白馬樞の木ホテル館内に飾られたスキー資料や五輪資料は訪れたお客様に地域の歴史を伝えている

地域では、外国籍住民との協働は不可欠だ。災害時の避難所で通訳などに当たる外国籍住民の消防団新設の情報も。地域が認める

外国籍住民の団体の活動に理解のある地域になってほしいと願うばかりだ。

(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)